

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東日本航空専門学校	昭和62年10月29日	今別府 和美	〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字菱沼84番地 (電話) 0223-23-3344			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人日本コンピュータ学園	昭和61年10月22日	理事長 持丸 寛一郎	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
目 的	航空産業界を担う空港グランド要員の専門技術者を養成することを目指し、航空業界に関する先端技術を習得させ、もって社会の発展と福祉に貢献できる人材育成をする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	空港エンジニア科	2年(昼)	1,950単位時間 (105単位)	平成12年12月26日 文部大臣告示 第84号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1330単位時間 (83単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	620単位時間 (18単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	46人	5人	2人	7人		
学期制度	■前期： 4月1日～9月30日 ■後期： 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 全科目100点評価(筆記試験) 5段階評価(実技試験) 定期考査(年4回) 前期(中間考査、期末考査) 後期(中間考査、期末考査)	
長期休み	■学年始め： 4月1日 ■夏 季： 7月24日～8月23日 ■冬 季： 12月24日～1月6日 ■学 年 末： 3月31日			卒業・進級条件	年間850単位時間以上の履修単位時間及び学校が定める履修すべき全科目の評点40点以上(評価2以上)	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 学生サポート室を設置し担任以外も含め組織として学生、保護者との相談体制			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 ANAエアポートサービス JALグランドサービス 中部スカイサポート</p> <p>■就職率※¹ 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合※² 100%</p> <p>■その他（任意） (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>実用英語技能検定 特殊無線技士 フォークリフト運転技能士 国際航空貨物取扱士（ディプロマ） 大型特殊運転免許</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 8.0%</p> <p>平成27年4月1日在学者 50名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 46名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更（就職）、学業不良</p> <p>■中退防止のための取組 学生相談室が主体となり、担任、学生、保護者と相談及び面接相談を実施</p>		
ホームページ	URL: http://www.ejair.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体との意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む。また、業界が新たに必要とする実務に関する知識及び技術や技能を把握・分析した上で、今後の専門課程の授業内容・方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
水車 慶二	航空技術教務課 課長 (委員長)
高野 正幸	航空技術教務課 教務主任 (副委員長)
工東 信郎	公益社団法人 日本航空技術協会 常任理事 事務局長
宮口 悟	日本通運株式会社 東北総代理支店 次長
今別府 和美	校長
大沼 英明	空港エンジニア科 教員
小形 一敏	空港エンジニア科 教員
入間川 洋司	空港エンジニア科 教員

(開催日時)

第 1 回 平成 27 年 10 月 13 日 13:00~14:00

第 2 回 平成 28 年 2 月 12 日 13:00~14:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

航空業界の空港グランドサービス要員として、専門分野の知識のみの習得に留まらず、実習を通じて知識に裏付けされた技術・技能の習得と理解度をより深める。また、空港業務に必要な資格取得を推進し早期に職場の実践力として業界で活躍できる人材を育成する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
一般教養	空港における航空機、貨物取扱業務及び空港業務全般に亘る研修を通じて知識で得られない技術・技能の習得や社会人に求められる人材とは何か等理解する。	株式会社 ANA エアサービス福島
航空機支援実習	フォークリフト車を使用する技術の基礎を取得し安全なオペレーターを育成する。技能修了書を取得する。	陸運労災防止協会宮城県支部

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員に対する研修の必要性を把握し、業務に必要な知識や専攻分野における指導力等を修得させ、教員の能力及び資質の向上を図る。また、必要と認める時は、他の機関や企業等と連携して又は外部の機関に委託して研修を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
菊田 正信	東北管理株式会社 代表取締役
宮口 悟	日本通運株式会社 東北総代理支店 次長
大村 憲克	株式会社ジャムコ 整備工場メンテナンス統括室 室長
石川 洋之	株式会社パンフィック 航空給油事業部 施設課主任 (本校OB)

(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページ上で公表

URL: <http://www.ejair.ac.jp/report/hyoka.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法) ホームページ上で公表

URL: <http://www.ejair.ac.jp/>

(工業専門課程 空港エンジニア科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			一般教養	数学を基本に学習するほか2年次では社会や国語が加わり就職試験を念頭に置いた作文指導なども行います。	1 通 2 通	280		○		
○			ビジネスマナー	社会人としての基本的なマナーに加え来客、電話対応、文書作成、および就職時の模擬面接やマナーについて実践的に幅広く学びます。	1 通 2 通	70		○		
○			英語	英語の基礎を確認し英語検定の取得、空港業務で使用頻度の多い英語力のレベルアップを図ります。	1 通 2 通	105		○		
○			英会話	日常的な会話ができるように楽しく英会話を学びます。	1 通 2 通	75			○	
○			コンピュータ実務	Microsoft Office での文書作成、表計算、プレゼンテーション作成の仕方を学びます。	1 通 2 通	130		△		○
○			航空業務	航空旅客、空港施設、気象など空港で行う仕事の全般について実質的な知識の習得を目指します。	1 通 2 通	180		○		
○			航空機概論	航空機の基本設計から各部の構造がどのように工夫され作られているのかを学びます。	1 通 2 通	120		○		
○			グランドハンドリング	航空機の地上移動、貨物の取扱など空港での地上作業に必要な知識を学びます。	1 通 2 通	190		○		
○			国際航空貨物	国際貨物輸送の基本から輸出入に関わる通関手続きまで国家資格の取得を目指します。	1 通 2 通	120		○		

授業科目等の概要 2/2

(工業専門課程 空港エンジニア科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			無線工学	特殊無線技士国家試験の対策を基本に理論から応用、さらに法規についても習得します。	1通	40		○		
○			整備基本技術	工具や計測器類の取扱など基本的な作業技術を学びます。	1通 2通	140				○
○			航空機取扱	小型単発機を用いて航空機を取扱うための基本となる事項について軽微な作業の仕方を学びます。	1通 2通	130				○
○			航空機支援実習	航空機・貨物コンテナのけん引、フォークリフトの操作など基本的なことについて実習を行います。	1通 2通	320				○
○			車両整備実習	各種地上支援車両の整備について学びます。	1通 2通	50				○
合計					14科目	1950 単位時間 (103 単位)				